

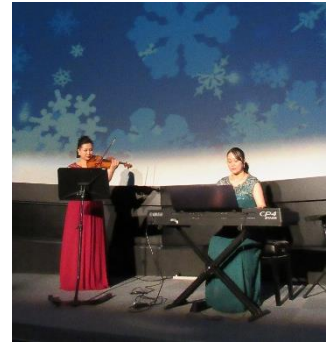
満天の星の下で奏でるヴァイオリンとピアノのコンサート

12月5日(日)にプラネタリウムコンサート「冬空を彩る星からの贈りもの」を開催しました。2回公演ともチケットは完売し、多くのお客さまが星空と音楽のコラボレーションを楽しみました。

演奏は、豊田市出身の寺本みなみさん・みずほさんご姉妹によるピアノとヴァイオリンで、馴染みのあるクラシック曲からクリスマスメドレーまで、全9曲の充実した内容でした。

星空解説では、タイトルの「星からの贈りもの」にちなんで、隕石がもたらした生命体の可能性にふれたり、カプセル帰還一周年を迎えた探査機はやぶさ2の話題にもふれたりしました。その後の大迫力の打ち上げ映像の中で演奏した「情熱大陸」は大変盛り上がりしました。

お客さまからは、ほかにも「心が癒されて明日からまた頑張れそうです」「年末にステキなプレゼントをありがとうございました」などの声をいただきました。



こども乗りものデザイン展

えがこう！みんなを笑顔にする乗り物

11月21日(土)～28日(日)の期間で、サイエンステラス「こども乗りものデザイン展」を開催しました。この催しは子どもたちが想像して描いた夢の乗りものを、トヨタクルマづくりの匠の技術でミニチュア製作するというものです。毎年行われるものづくりのイベント「わくわくワールド」の中で表彰され、そのうちの優秀賞の10作品が当館で展示されました。

モグラの鼻先がドリルになっていて土の中を観察する乗り物や、エビの節一つ一つが部屋になっているくねくね列車という作品もありました。

子どもたちの自由な発想と、プロの細部へのこだわりや高い技術力に、来場者からは「すごい！こんな乗り物があったら面白い」などの声がありました。



☆天文トピックス☆

冬の大三角にひっそりと輝く「いっかくじゅう座」



ばら星雲
写真：谷川正夫氏

2月中旬の21時頃、南の空を見上げると「冬の大三角」があります。オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンをむすび、冬の夜空で大きな三角形を作ります。その三角形の中に、星座が一つあることを知っていますか？それは「いっかくじゅう座」です。

いっかくじゅう(一角獣)とは、想像上の動物「ユニコーン」のことです。ヨーロッパの物語や絵画で「幸せをもたらす動物」として描かれ、心が清らかな優しい乙女しか見ることができないとも言われています。なかなか出会うことができない伝説の通りか、星座の姿も4等星以下の暗い星が多く、見つけるのは簡単ではありません。

しかし、いっかくじゅう座には美しい散光星雲「ばら星雲」もあって、多くの天文ファンを魅了しています。中心部には、明るい星が集まる散開星団も見られ、ばら星雲の淡い光に包まれています。

夜空が澄んで星がよく見える日があったら、冬の大三角を見つけて、その中にあるいっかくじゅう座をたどってみたいですね。

高専ワークショップ「スマホアプリを作ってみよう」

11月6日(土)、豊田高専ワークショップが行われ12人の小中学生が参加しました。今回は、パソコンを使ってスマートフォンの画像にお絵描きをするアプリケーションを作る内容でした。どの参加者も手慣れた様子でプログラムを組んでいて、講師の木村先生も基礎力の高さに目を見張っていらっしゃいました。中には自分で撮影した画像を加工するなど、自ら進んで独自の楽しみ方を広げている参加者もいました。

「楽しかったから家でもやりたい」「オリジナルのアプリを作りたい」など意欲的な声が多く、小中学生にとってもスマートフォンは身近な存在なのだと思えてきました。アプリ作りは初めての試みでしたが、楽しめる講座となりました。

